

清き郷石狩の

(昭和十五年桜星会三十周年記念歌)

岩崎五郎君 作歌
呉泰治郎君 作曲

一

清き郷石狩の曠野に
うち立てし先人が跡
乾坤に時光流れて
今ぞなる三十年の崇高き青史よ
讃へなん いざ
若き血潮 燃ゆる理想
世を覺醒し世を導かん
傳統の榆鐘高く鳴るなり

二

黒き雲世に狂へども
守り來し正義の精神
青春の生命捧げて
恵ぬなり幽遠なる眞理の秘奥
高唱はなん いざ
熱き感激 たぎる憧憬
美しく強く生かばや
雄叫びは高く湧くなり

三

天地に暴風雨吹ゆるも
東洋に夜は黎明んとす
世界を救ふ大理想もて
うち立てん永劫の平和の大旆
叫ばなん いざ
湧ける激情 あがる歡喜
楡の舎の健兒我等は
生ける證に胸に湧くなり

四

悠久の時の移ろひ
青春のこの瞬間を
星辰澄きエルムの園に
過すなり涯際なき神秘の懷中に
仰がなん いざ
清き生命 高き意欲
先人の遺せし教訓
我等が魂強く打つなり